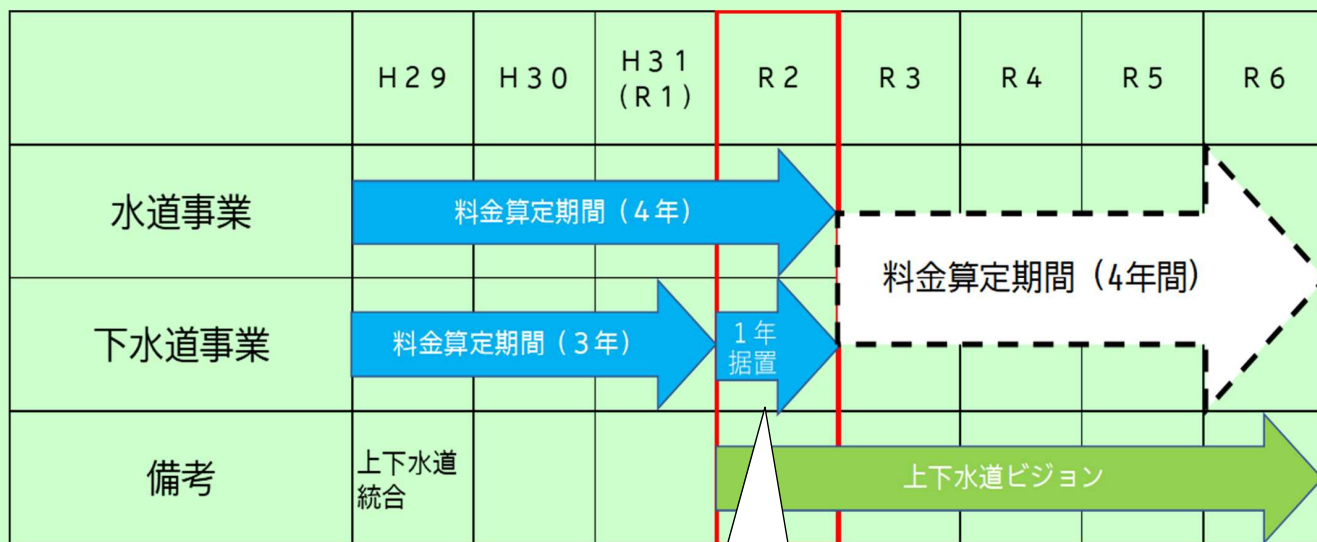


# 水道料金・下水道等使用料及び 受益者負担金について

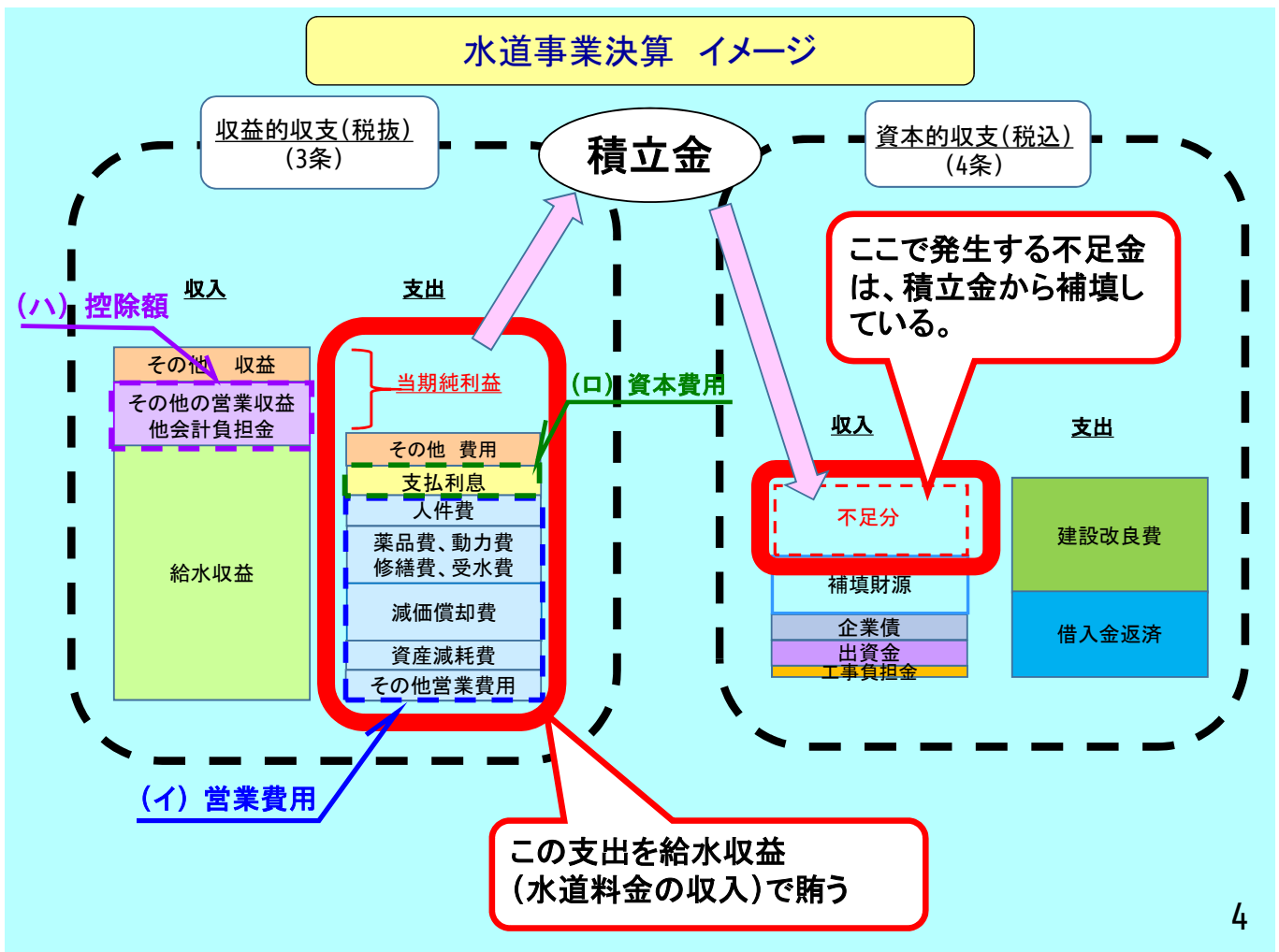
## 上下水道事業の料金等について

水道料金及び下水道使用料ともにH28審議会において、それぞれ答申をいただき、H31(R1)審議会では上下水道事業の料金算定期間を合わせるため、下水道使用料を1年据置きとした。

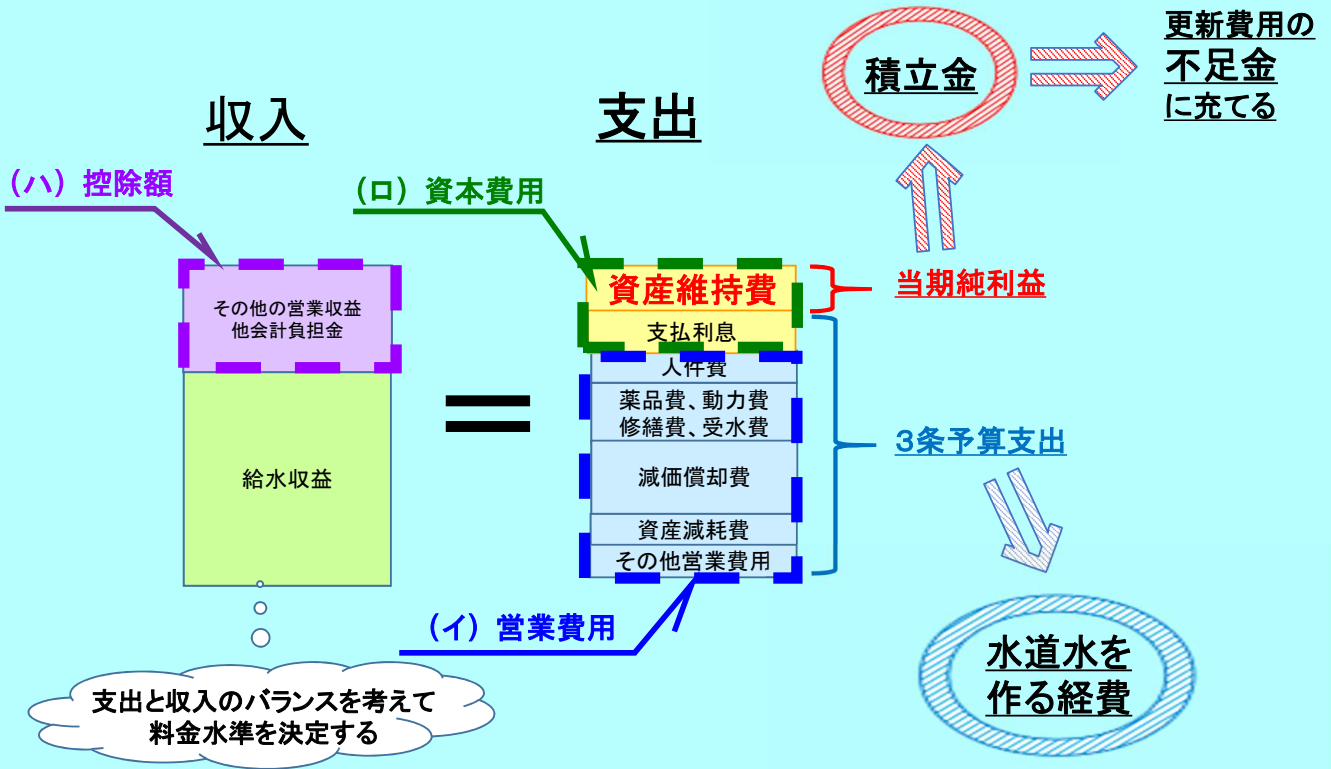


今年度、料金について  
それぞれ審議を行う。

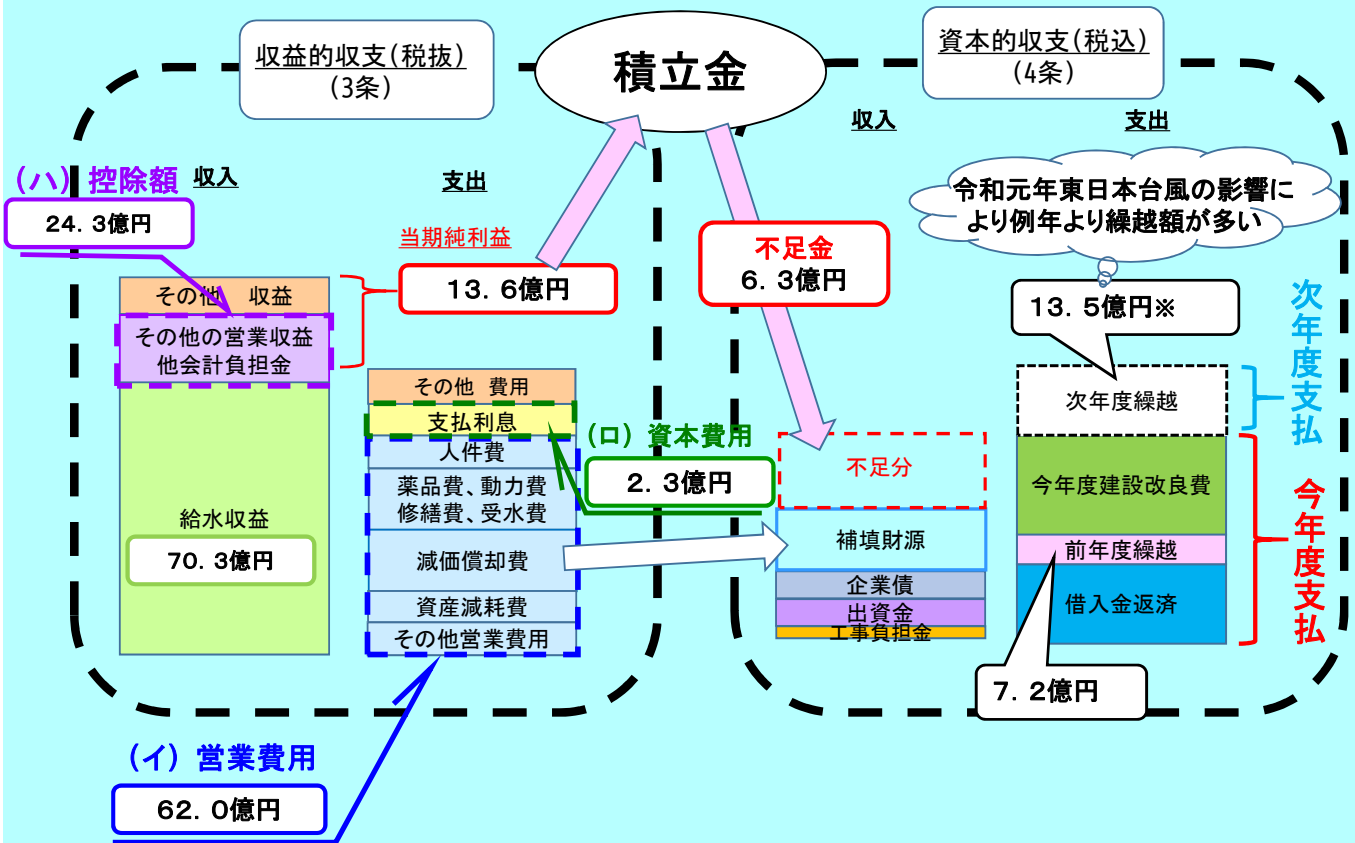
# 水道料金見直しの検討について



# 給水収益の算定

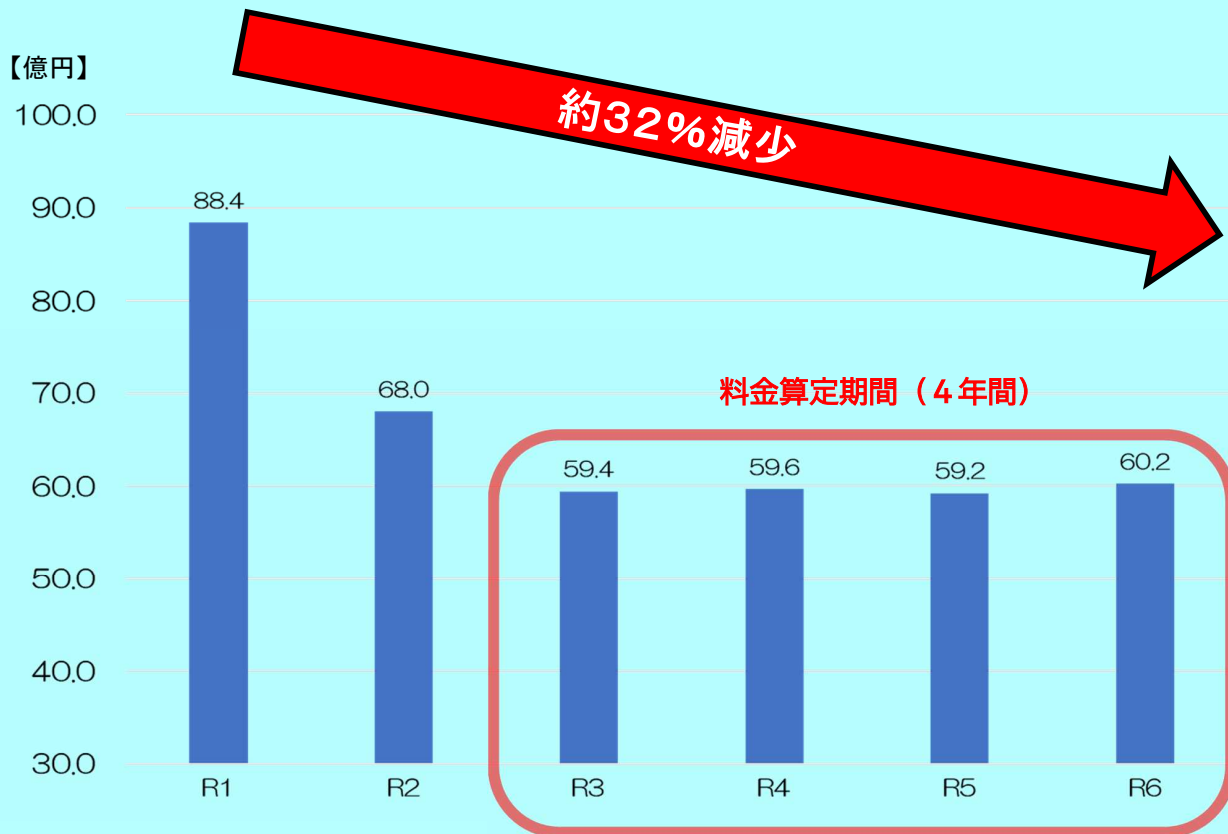


# 令和元年度 水道事業決算



## 資本的収支(4条)の不足金に充てる積立金の将来予測値

※水道料金を据え置いた場合



7

下水道使用料見直しの検討について

8

## 下水道使用料の考え方

国の方針(総務省)

(1)「今後の下水道財政の在り方に関する研究会」

(平成18年3月 総務省自治財政局地域企業経営企画室)

基本は汚水処理費に見合った額を設定すべきだが、他の公共料金や住民負担可能額等を勘案し、3,000円/20m<sup>3</sup>・月(使用料単価150円/m<sup>3</sup>)の水準を目途に適正化を図るべき。

(2)「公営企業の経営に当たっての留意事項について」

(平成26年8月 総務省自治財政局公営企業課長)

使用料回収対象経費に対する地方財政措置については、最低限行うべき経営努力として、全事業平均水洗化率及び使用料徴収月3,000円/20m<sup>3</sup>を前提として行われていることに留意すること。

⇒郡山市 現行使用料 3,066円/20m<sup>3</sup>・月

9

## 下水道使用料見直しの必要性を判断する最も重要な指標

### 経費回収率

使用料水準が適切に設定されているかを評価するための代表的な指標であり、この数値が100%を下回っている場合、使用料で回収すべき汚水処理費を全て使用料で賄っていない状況であり、適正な使用料収入の確保及び汚水処理費の削減に取り組む必要があることを意味する。

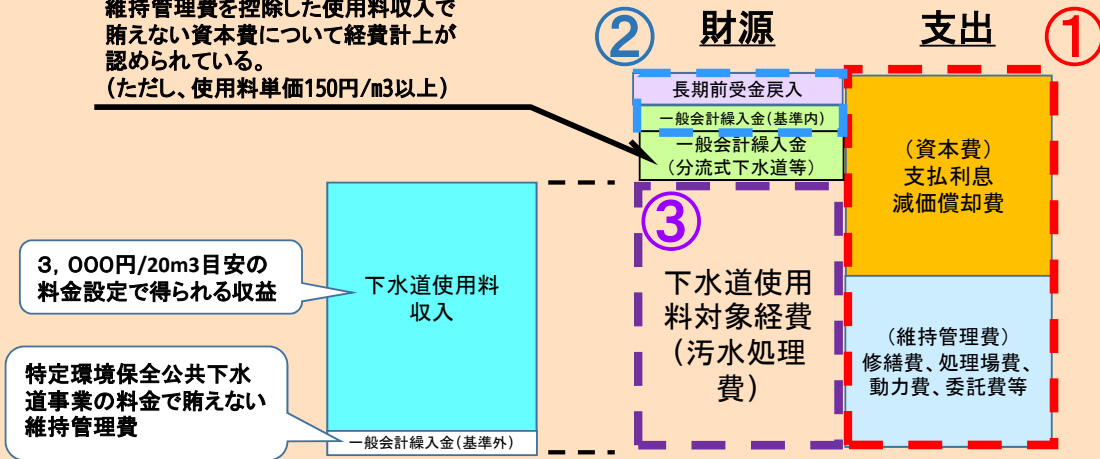
$$\text{経費回収率 (\%)} = \frac{\text{下水道使用料収入}}{\text{下水道使用料対象経費 (汚水処理費)}} \times 100$$

10

## 分流式下水道等に要する経費

### 分流式下水道等に要する経費

維持管理費を控除した使用料収入で  
賄えない資本費について経費計上が  
認められている。  
(ただし、使用料単価150円/m<sup>3</sup>以上)

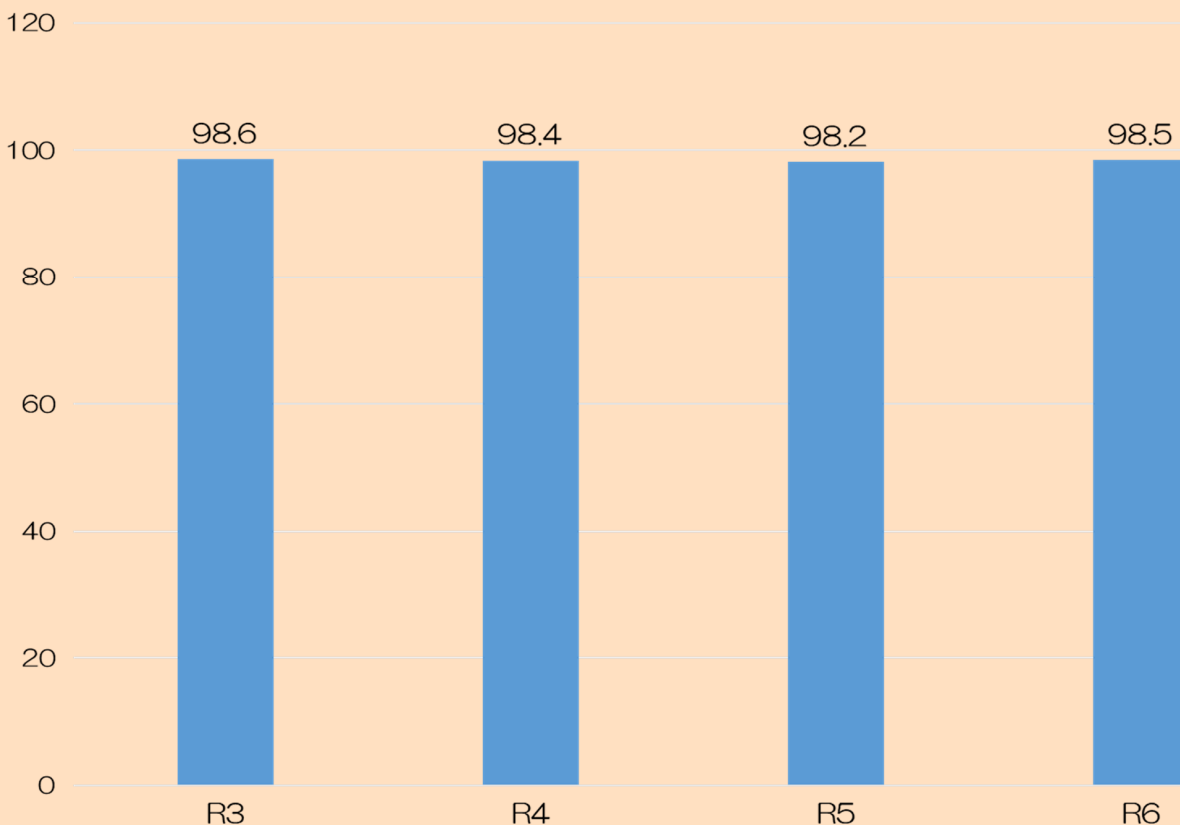


$$\text{分流式下水道等に要する費用} = \text{①} - \text{②} - \text{③}$$

分流式下水道で污水处理費の調整を行っているため、公共下水道では、下水道使用料収入と下水道使用料対象経費が等しくなる。  
特定環境保全公共下水道では、維持管理費を使用料収入で賄えずに基準外繰入により補っていることから、経費回収率は低い。

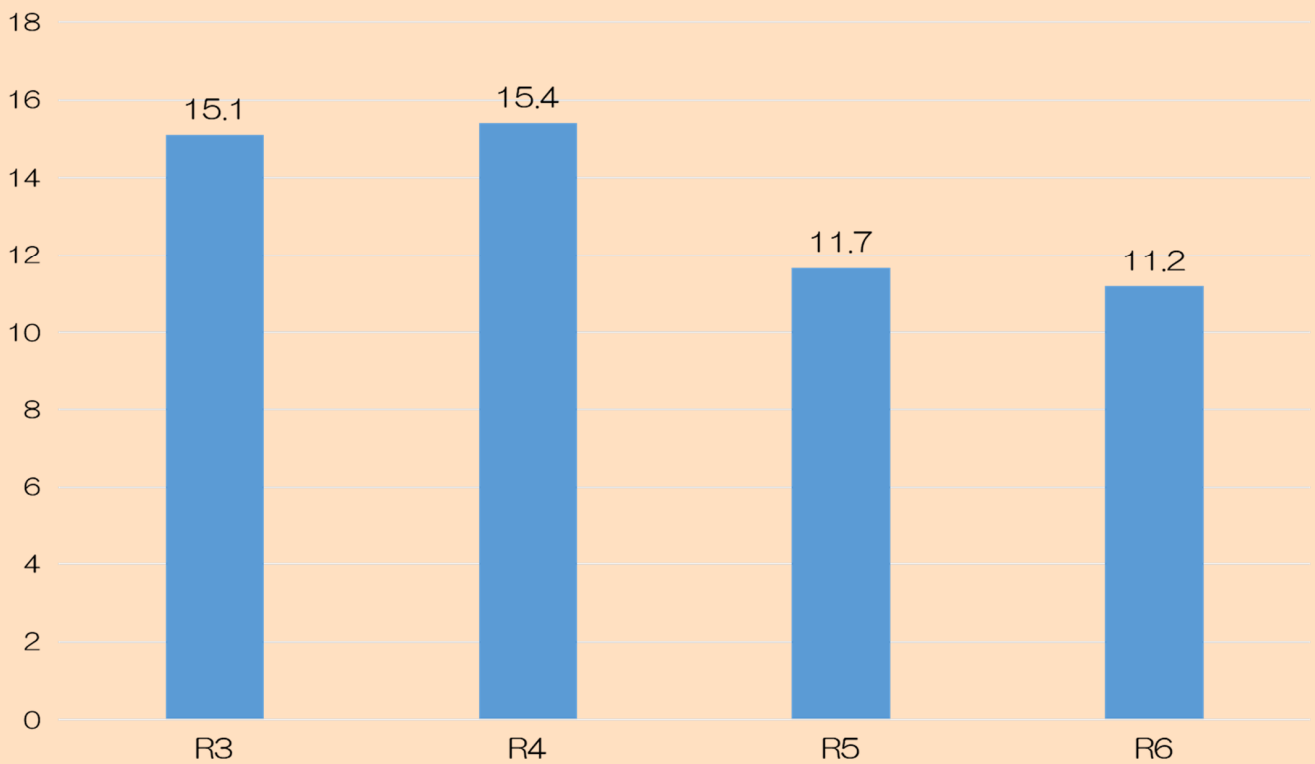
## 郡山市の経費回収率の予測値

【%】



## 分流式下水道等に要する費用の将来予測

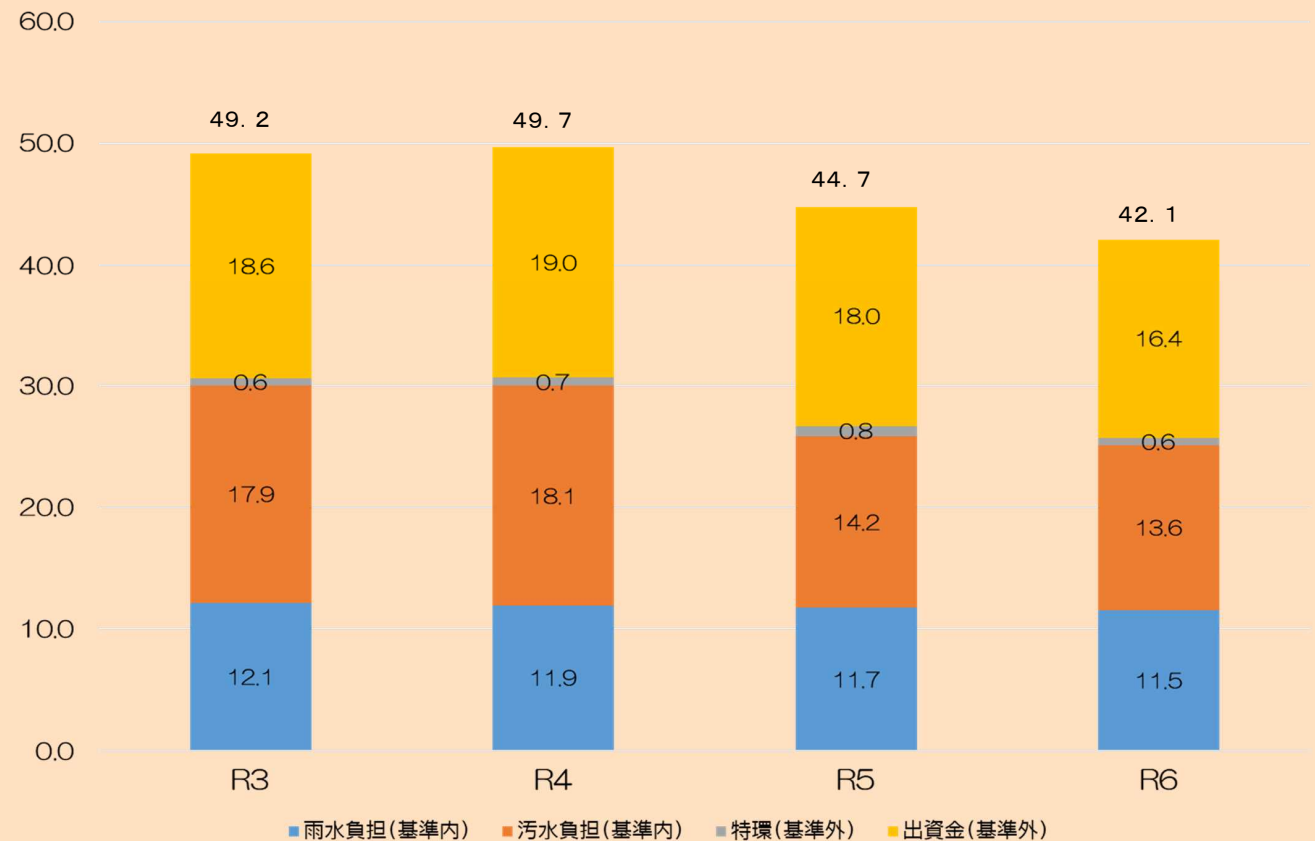
【億円】



13

## 一般会計繰入金の将来予測

【億円】

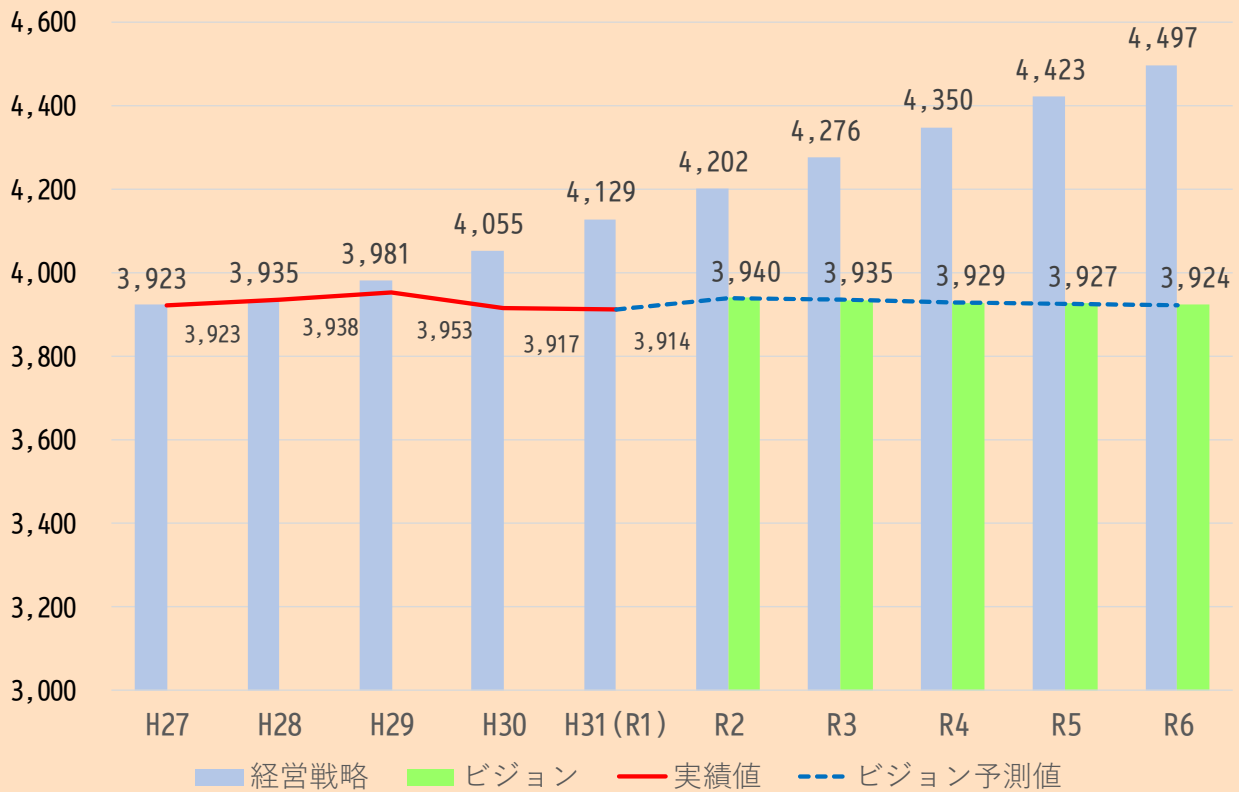


※ 分流式下水道等に要する費用は、汚水負担(基準内)に含んでいる。

14

## 公共下水道使用料予測(経営戦略・ビジョン)と実績値

【単位:百万円】



15

## 下水道財政の在り方に関する研究会 平成29年度～

令和元年度に開催予定であったが、  
現在未開催である。

第1回～第8回  
研究会 開催済

第9回  
(方向性)

第10回  
(全体論点整理)

第11回  
(報告書)

### 研究会における検討事項

- ①使用料のあり方…**H17に設定した使用料水準(3,000円)の見直し**  
**資産維持費及び積立のあり方**
- ②下水道事業における地方財政措置のあり方
- ③資産活用方策
- ④その他

16



## 受益者負担金見直しの検討について

17

### 受益者負担金

根拠法令	都市計画法第75条
算出方法	$\frac{\text{末端管渠整備費}}{\text{整備面積}} \times \frac{1}{5}$
単位負担金額	496円/m <sup>2</sup>
対象地目	田、畑、宅地など すべての土地
賦課方式	単位負担金額制

18

## 今後4年間の受益者負担金の算定

年 度	末端管渠整備費(千円)	整備面積(m <sup>2</sup> )	整備地区
3	856,000	330,000	喜久田町堀之内 八山田
4	707,000	350,000	喜久田町堀之内 八山田
5	661,000	229,000	八山田、宝田
6	623,000	220,000	八山田、宝田
合計	2,847,000	1,129,000	

$$\frac{2,847,000 \text{千円}}{1,129,000 \text{m}^2} \times \frac{1}{5} = 504.3 \text{円/m}^2$$

※前回審議会(H28)では、算定金額は511.4円/m<sup>2</sup>であり、料金は据置きとした。

19

## memo

---



---



---



---